

審議会等の会議の記録

会 議 の 名 称	人権教育・啓発の推進に関する伊勢崎市基本計画推進協議会
開 催 日 時	令和5年7月26日（水）午前10時から
開 催 場 所	市役所東館5階第4会議室
出 席 者 氏 名	【委員】 吉田勝昭委員、細井委員、内田委員、都丸委員、長沼委員、清水委員、吉田仁委員、菊池委員、関川委員、飯島委員 【事務局】 市民部長、市民部副部長、人権課長、人権啓発係長、人権啓発係主任 【担当課職員】 職員課長、市民活動課長、国際課長、健康づくり課長、子育て支援課長、障害福祉課長、高齢政策課長代理、地域包括支援センター所長代理、消防本部総務課長、市民病院総務課長代理、教育部総務課長、学校教育課長代理、生涯学習課長
傍 聴 人 数	0名
会 議 の 議 題	1 令和4年度推進状況及び令和5年度事業計画について 2 その他
会 議 資 料 の 内 容	推進状況一覧表【資料1】
会 議 に お け る 議 事 の 経 過 及 び 発 言 の 要 旨	【人権教育・啓発の推進に関する伊勢崎市基本計画推進協議会】 1 開会 2 会長挨拶 3 議事 （1）令和4年度推進状況及び令和5年度事業計画について 事務局から令和4年度推進状況及び令和5年度事業計画の主要な事業について説明、事前質問票の提出がなかったことを報告し、質疑応答を行った。 （意見・質問の概要） （委員）事務局の説明では、資料1の「事業の成果と今後の取り組み」に触れていなかったが、アンケートを分析することで新年度の計画ができていくと思う。そのことについて説明はないのか。

会議における
議事の経過及
び発言の要旨

（事務局）男女共同参画講演会とセミナーについて、95%以上の方から理解や関心が深まったと回答があった。事業実施後には必ずアンケートを実施し、次回に生かすようにしている。

（委員）計画全体に関してのアンケート分析があるかという趣旨の質問だった。すぐに答えがなくてもよい。

（委員）子どもについて、コロナ禍で学業の遅れと精神面への影響はあったか。

（担当課）学業の遅れについては、国や県の通知をもとに、履修漏れがないよう各学校に指導した。欠席の子どもには、個別の学習機会の提供や、その日の学習の記録を届けるなどの工夫をした。精神面への影響については、マスクにより表情が分からないため、マスクのない生活とは違う環境に子どもたちが置かれていることを捉え、寄り添った対応をしている。また、教育研究所の臨床心理士の専門的な意見や助言等を各学校に伝え、子どもたちを細かく見るよう指示している。

（委員）学校に勤務している者だが、教育支援員について、昨年度の62人が今年度は99人に増加している。国が10年おきに支援が必要な子どもについて調査しているが、学習支援が必要な子どもは確実に増えている。現状に応じて、伊勢崎市は、教育支援員の採用を増やしたということで、非常にありがたいと感じている。

（委員）マスクについて、学校での初動の指導は、「マスクを外しましょう」と「個人の判断に委ねる」のどちらか。

（委員）5類に移行した段階では、「個人の判断に委ねる」という指導をした。暑くなってきたので、熱中症にならないよう、「積極的に外していこう」という声掛けが必要かと思う。

（委員）身体的な健康という観点での回答だが、小学校高学年くらいになると、マスクを外さない方が楽という子どもが出てくる。今まではマスクをしていても目立たなかったが、心の健康という観点でも具体的な戦略が必要かと思う。

（担当課）子どもの発達段階によってマスクの着用率に差がある。小学校高学年からマスクを外せない子どもが多い。学校と家庭が同じ意識のもと、少しずつ社会性を身に付けさせていくことが大事かと思う。

（委員）大人からの指示に同調して、マスクを外せない子どもに攻撃をする子どもが出てくることを懸念している。年齢が上がれば、意図的にいじめとして使う方法はいくらでもある。長期的な戦略が必要かと思うので配慮してほしい。

会議における
議事の経過及
び発言の要旨

（委員）伊勢崎市は外国人が非常に多いが、市で外国人を正式採用する計画はあるか。また、市として外国人をどのように捉えているか。

（担当課）外国人の正式採用の予定はないが、会計年度任用職員としては採用している。

（担当課）市としては、外国籍の方が生活者であることを念頭に置き、日本人と同様の行政サービスを受けられるよう多言語で情報発信している。外国人総合相談窓口では、コロナ禍の前後で相談件数が約２倍に増加し、困っている方が多いと実感している。

（委員）外国人の正式採用については、公務員を目指したが叶わなかった方がいたので質問した。制約があつて外国籍の方を公務員にできないのだと思うが、今後さらに外国人が増えたときに、日本人だけで対応が事足りるのか心配だった。

（委員）相談件数が増えたとのことだが、どんな相談が増えたのか。また、ヘイトスピーチに関する相談はあったか。医療に関する通訳に困っている方が多いと思うが、それに関する相談や取組はあるか。

（担当課）相談内容については、税の納期延長やワクチンなど、国の政策に関するものが増加した。ここ数年は税と福祉の分野が多い。ヘイトスピーチについては、外国人総合相談窓口では把握していない。医療通訳者については、県が派遣を行っているので、制度を紹介している。

（担当課）人権法律行政相談を実施しているが、現状では、ヘイトスピーチに関する相談はない。

（委員）高齢者について、コロナ禍で様々な事業が停止していたが、徐々に再開してきた。ミニデイサービス事業と居場所づくり事業があるが、今後の取組を教えてほしい。また、高齢者タクシー利用料金助成事業について、運転免許の自主返納も増えているので、拡充してほしい。高齢者エアコン購入費等補助事業について、申請実績を教えてほしい。

（委員）それぞれの個別事業がどのような役割分担で連携しているのか。地域包括ケアとしてどう考えているのか。

（担当課）ミニデイサービス事業は、いくつか条件があり、開催が難しいという声もあるので、今後の課題と認識している。エアコン購入費等補助事業の実績については、今年度の新規事業のため、昨年度の実績はないが、今年度は現時点で１０件の申請があった。

会 議 に お け る 議 事 の 経 過 及 び 発 言 の 要 旨	(担当課) 居場所づくりは、どの年代の方でも集まれる場所ということで、各地域に設置をお願いしている。ミニデイと居場所づくりにはそれぞれの良さがあり、地域としてどちらが必要かを考えてもらっている。市も連携し、周知や情報提供を行っている。 協議の結果、本日の意見等を踏まえ、令和5年度の事業計画を推進することに決定。 (2) その他 事務局から人権のまちづくり講演会の開催について、案内を行った。 4 閉会
--	---